



## 「リアルに表現された世界観に 想像力をかきたてられる！」

### ガンバレルーヤ(芸人)

よしこ(右、愛知県出身)、まひる(左、鳥取県出身)からなるお笑いコンビ。2012年に結成。まひるの「ジブリ愛」から生まれたネタや、アイドルとのコラボダンスなど、その多才ぶりでお茶の間の人気を得る。

# ジブリパーク を歩いて Vol.4

東海地方やスタジオジブリ作品ゆかりの方が肌で感じたことを語る「ジブリパークを歩いて」。今回はプライベートでも来園したというお笑いコンビ「ガンバレルーヤ」の登場です。「魔女の谷」もののけの里を巡ってジブリ作品の世界を満喫し、「五平餅炭火焼体験」も楽しみました。

### 「今回ジブリパークを訪れてみていかがでしたか？」

よしこ ジブリ作品をモチーフに装飾された「メリーゴーランド」がすごかったです。興奮したまーちゃん(まひる)が、乗っている間に流れる背景音楽、「ハウルの動く城」の「人生のメリーゴーラ



「魔女の家」のペラ・ヤガの作業部屋は、あやしげな雰囲気に包まれドキ...

ンド」を、歌詞がないのに大声で歌うのも面白かったです。

まひる 「魔女の家」も一つ一つのお部屋が細かく作りこまれていて、さっきまでそこに人がいたかのような生活感があって、「私もここに住みたい」って思いました。戸棚や冷蔵庫を開ければ、実物ではないものの、お肉やお魚が

あるし、ちょっと掃除が行き届いてないところすらリアルでした。

よしこ 人の気配を感じますよね。ペラ・ヤガの作業部屋は怖くて鳥肌が立ちました！何かの内臓を触ったらプニプニした感触で...

まひる 展示物に実際に触られるのもすごいですよね。魔法の材料をすり潰した跡やレシピ本も置いてあって、「調合を失敗したらどうしよう」って、気軽には触れなかったです。

よしこ 感想の次元が違う。細部まで凝っている空間だからこそ、現実のこのように感じさせるんだろうね。

まひる 「ハウルの城」では劇中では登場しない部屋も再現されていて、「マルクルはこんな部屋に住んでいるんだ」って想像力をかきたてられました。

よしこ 最大限までジブリ作品の世界に入り込ませてくれるけど、巡り方や触り方を強調するのではなく、来園者にゆだねるところが粋というか。ジブリに携わる人たちって、職人だなと感じましたね。

### 「特に印象に残ったものは？」

まひる 一番は...すみません、決められません。でも、「魔女の谷」にある「グーチョキパン屋」の屋根裏部屋は、「魔女の宅急便」でキキが修行のために13歳で知らない町に来て、もとはホコリまみれだったあの部屋で一人で暮らしていたんだと思うと、胸が締め付けられたといいますか。キキ本人にも、キキのお母さんのような心情にもなって、ノートにメッセージも書かせていただきました。

よしこ 「もののけの里」の「タタラ場」では、五平餅の炭火焼き体験もさせていただいて、愛知出身としてうれしかったです。最近海外からの旅行者の方も多いですけど、その土地のものを食べられるってうれしいと思うんですよ。ジブリ作品の世界に触れられて、郷土料理の五平餅も焼いてというのが、一石二鳥で楽しめて良

いなと思いました。  
まひる 「もののけの里」は草が生い茂ったり畑が隣接したりと、自然との調和も素晴らしいです。個人的には「もののけ姫」から受けるテーマ、「自然との共存」も垣間見たような気がします。



「タタラ場」での「五平餅炭火焼体験」は、七輪でじっくり焼く香ばしさが濃厚

### 「これからジブリパークに行ってみようと考えている読者にメッセージを！」

まひる まずは来てください！私はジブリパークでは周りの人の声が聞こえなくなるくらい童心に帰って没入しちゃうんです。ジブリパークに来ると映画を観たくなるし、映画を観るとジブリパークに来たくなる。終わらないですね。ジブリって...永遠(とわ)だなんて思います。



上手に焼けた五平餅にご満悦。2人がチョイスした味は「くろみそ」と「ナポリタン」

よしこ 個人的には、国内だけでなく海外の人にもぜひ来てもらいたいです。最近聞いた話で、「サワサワ」とか「キリキリ」といった虫の声が雑音に聞こえないのって、日本人ならではのなんですか。そんな心地よさを、感覚的にわかってもらえるような気がします。あと、来るたびに変化があるの、かめばかむほど味がする場所です。

まひる ...つまり、「とわ」ってこと？

よしこ //とわ//です(笑)。

前回は  
声優落合福嗣さん。  
その記事は  
ウェブサイトで  
公開中



チケットは予約制